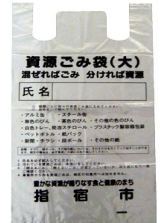


資源ごみ

紙類

(リサイクルできる汚れていない紙)

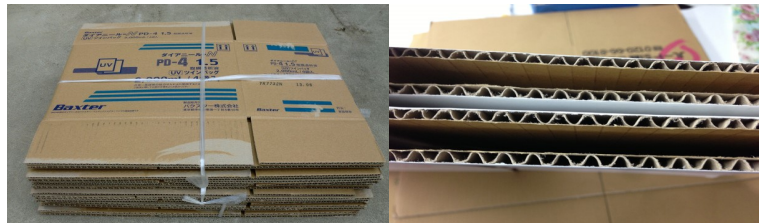
重要!!



新聞



ダンボール



- ・断面に波状の紙が入っているもの

1 紐でしばるか指定袋に入れて出す



- ・紙類は指定ごみ袋に入れるか、ひもでしばって出すこともできます（ビニールひも可）
- ※雨の日は必ず指定袋に入れて出す

2 紙以外はできるだけ取り除く



- ・ガムテープ・金具（ホッチキスの芯）などは取り除く

分別ポイント

該当しないもの



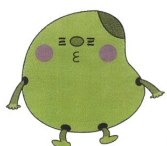
- ・汚れがひどい紙やティッシュペーパー



- ・防水加工をしている紙
リサイクル工程で溶け残ってしまう

豆

知識



資源ごみの「その他の紙」に該当する紙は、本当にたくさん種類があるんだけど、間違って燃えるごみとして出されることが多いんだ。
生活の中でたくさん出るものだからこそ、しっかり分別したいね。



その他の紙(同じ袋に入れる)



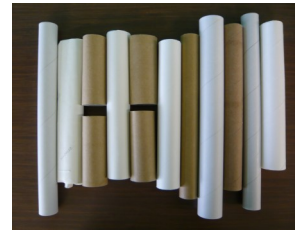
雑誌類



紙製のケース類



カレンダー類



紙製の芯類



紙箱, 包装紙類



本, 辞典類



封筒, ハガキ類



教科書, ノート類

3 紙袋もそのままその他の紙 (持ち手が紙のもの)



小さい「その他の紙」は紙袋に入れてひもでしばると、簡単にまとめられるよ。

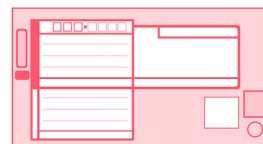
4 シュレッダーにかけた紙



- ・ 指定袋に入れて出す
- ・ 幅4mm×長さ4cm以上のもの



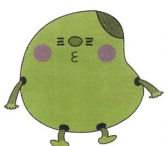
- ・ においが染み付いた紙
リサイクル後の紙に、においが残る



- ・ 感熱紙や油紙などの特殊な紙



知識



「紙」は植物繊維である「パルプ」が絡み合っていてできているんだ。だから、シュレッダーにかけて細くなりすぎた紙を、リサイクルするとパルプ同士がうまく絡み合えなくて、もろい紙質になってしまうんだ。

シュレッダーを買うときは、できるだけ「幅4mm×長さ4cm以上」のものを選ぶことも環境に優しい取り組みになるんだね。